作成日 2002年11月29日
改訂日 2015年01月05日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	フェスティバルM水和剤
整理番号	1438-10
会社名	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	環境安全部
電話番号	03-3279-5831
緊急連絡電話番号	03-3279-5831
FAX番号	03-3279-5195
推奨用途及び使用上の制限	農業用殺菌剤 農薬登録以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2B 皮膚感作性 区分1 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2(呼吸器系) 特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分2(肝 呼吸器系 甲状腺 神経系 腎臓 副腎)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性) 区分1 水生環境有害性(慢性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
シンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H320 眼刺激 H350 発がんのおそれ H371 呼吸器系の障害のおそれ H373 長期又は反復ばく露による肝、呼吸器系、甲状腺、神経系、腎臓、副腎の障害のおそれ H400 水生生物に非常に強い毒性 H410 長期的影響により水生生物に強い毒性

注意書き

安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。(P260)
粉じん、ヒュームの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋を着用すること。(P280)
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

応急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で優しく洗うこと。(P302+P352)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P309+P311)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P333+P313)
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)
漏出物は回収すること。(P391)

保管
施錠して保管すること。(P405)

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物
一般名　ジメトモルフ・マンゼブ水和剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
(E,Z)−4−[3−(4−クロロフェニル)−3−(3,4−ジメトキシフェニル)アクリロイル]モルホリン (別名　ジメトモルフ)	12.0%	$C_{21}H_{22}ClNO_4$			110488-70-5
マンガンエチレンビス(ジチオカーバメイト)(ポリメリック)と亜鉛塩との複合体 (別名　マンゼブ)	50.0%	$C_{36}H_{54}N_{18}S_{36}Zn(Mn)_9$	(2)-2127		8018-01-7
非晶質シリカ	6.0%				112926-00-8

石英ー結晶質シリカ	6.8%	SiO_2	(1)-548		14808-60-7
その他安定剤等	25.2%				

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、安静にし、保温する。 必要な場合は医師の手当て、診断を受ける。
皮膚に付着した場合	速やかに多量の水および石鹸で洗い流す。 必要な場合は医師の手当て、診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な水で眼を洗浄し、医師の手当て、診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当て、診断を受ける。 口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂など。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	火災時に有害ガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行なう。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、飛沫、粉塵、ミスト、ガスなどによる眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収・中和並びに封じ込め及び浄化方法・機材	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
	注意事項	容器を転倒、落下させ、衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。 全体換気の設備がある場所で取扱う。
	安全取扱い注意事項	取扱う前には必ずラベルを良く読むこと。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 取扱い中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。 取扱い後は手足・顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換すること。 取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯すること。 かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
保管	技術的対策	特に技術的対策は必要としない。
	混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
	保管条件	直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密封して保管すること。
	容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
	日本産衛学会(2009年版)	吸入性結晶質シリカ　0.03mg/m^3
	ACGIH(2010年版)	TWA　0.025 mg/m^3 (石英)
設備対策		取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸器の保護具	防じんマスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡

	皮膚及び身体の保護具	長袖の作業衣・長靴、保護クリーム
衛生対策		取扱い後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換すること。 取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	水和性粉末
	色	淡黄色
	pH	6.4(×5)
見掛け比重		0.22

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	重合作用 :起こらない。
避けるべき条件	加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット LD_{50}	雄 3,995 mg/kg 雌 3,056 mg/kg
	経皮	ラット LD_{50}	雄 >2,000 mg/kg 雌 >2,000 mg/kg

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	混合物の成分の眼に対する重篤な損傷/眼刺激性－区分2Bの濃度合計が50%のため眼に対する重篤な損傷/眼刺激性－区分2Bとした。
皮膚感作性	混合物の成分の皮膚感作性－区分1の濃度が50%のため皮膚感作性－区分1とした。
発がん性	混合物の成分の発がん性－区分1Aの濃度が6.8%のため発がん性－区分1Aとした。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回暴露)－区分1(呼吸器系)の濃度が6.8%のため特定標的臓器毒性(単回暴露)－区分2(呼吸器系)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分2(肝)の濃度が50%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分2(肝)とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分1(呼吸器系)の濃度が6.8%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)－区分2(呼吸器系)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分2(甲状腺)の濃度が50%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分2(甲状腺)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分2(神経系)の濃度が50%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分2(神経系)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分1(腎臓)の濃度が6.8%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分2(腎臓)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分2(副腎)の濃度が50%のため特定標的臓器毒性(反復暴露)ー区分2(副腎)とした。

12. 環境影響情報

生態毒性	魚毒性	コイ	LC_{50} (96h)	9.8 mg/L
		オオミジンコ	EC_{50} (48h)	0.306 mg/L
			EbC_{50} (0-72h)	0.0398 mg/L
	水生環境有害性(慢性)	混合物の成分の水生環境有害性(慢性)ー区分1X毒性乗率の濃度合計が500%のため水生環境有害性(慢性)ー区分1とした。		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄に当たっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制		
	国連分類	9
	国連番号	3077
	品名(国際輸送品名)	環境有害物質(固体)
	容器等級	Ⅲ
	海洋汚染物質	P
国内規制		該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件		輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。
緊急時応急措置指針番号		171

15. 適用法令

農薬取締法	フェスティバルM水和剤 登録番号 19508号
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) N, N'ーエチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガンとN, N'ーエチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛の錯化合物(別名　マンコゼブ又はマンゼブ) 政令番号:62
労働安全衛生法	特定化学物質第2類物質、管理第2類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 5号) マンガン及びその化合物(塩基性酸化マンガンを除く) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) シリカ　政令番号:312

16. その他の情報

連絡先

会社名	北興化学工業株式会社
担当部門	環境安全部
電話番号	03-3279-5831
FAX番号	03-3279-5195

中毒に関する緊急問合せ先　公益財団法人　日本中毒情報センター

中毒100番	一般市民専用電話(情報提供料:無料)	医療機関専用有料電話(1件につき2,000円)
大阪(365日、24時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日、9～21時)	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は現時点での情報、データをもとに作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは、製品を安全に取扱うための情報を提供するものであって、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関して保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。